

CITY OF YOKOHAMA

横浜市とマリンFMは、
「災害時における臨時災害放送局
の開設・運用の支援」について、
協定を締結します。

2023年9月8日
市長定例記者会見

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

■ 臨時災害放送局とは①

災害が発生した場合に、その被害の軽減に役立つよう、被災地の地方公共団体等が開設する臨時かつ一時的の目的のためのFM放送局

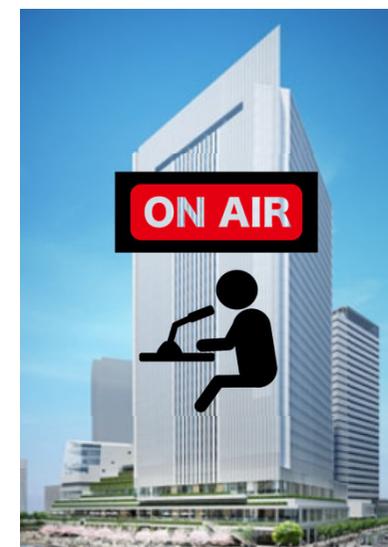
臨時災害放送局の強み

タイムリーな情報発信

発災直後・・・被害情報、安否情報、避難所情報など
復旧期・・・生活情報、支援情報、ライフライン情報など
復興期・・・まちづくり情報、復興情報など

地域に密着した生活情報・支援情報

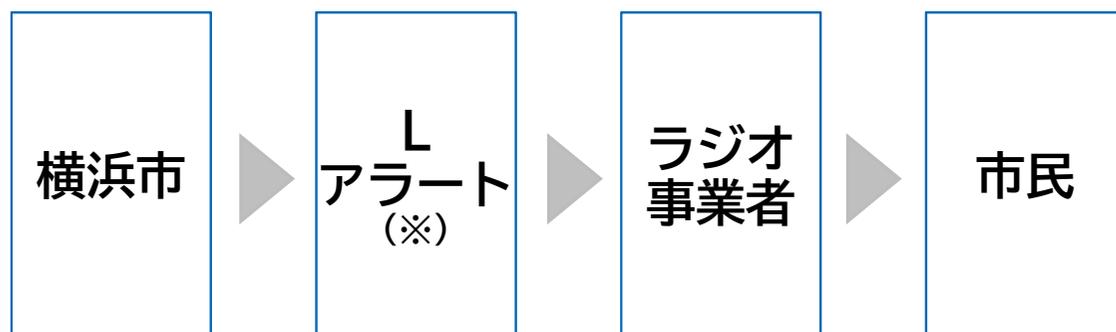
「〇〇小学校に避難物資が届きました。」
「〇〇スーパーの営業が再開しました。」
「〇〇で炊き出しを行っています。」 など



自家発電機能あり



■ 臨時災害放送局とは②



【通常】
気象警報や避難指示などの
災害関連情報を間接的に情報伝達



【臨時災害放送局】
横浜市が放送主体となり、
直接市民に情報伝達

※地方公共団体などの「情報発信者」が発出した公的情報を、多様なメディアに一斉送信することで、災害関連情報等の迅速かつ効率的な住民への伝達を可能とする共通基盤

【参考】臨時災害放送局（ラジオ）の開設実績

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の際に初めて開局。
その後、令和4年12月までに55局開設
(うち東日本大震災時は30局)

※ 関東地域の臨時災害放送局に関する最近の取組状況（令和5年6月26日 総務省関東総合通信局）

■ 協定の締結

マリンFM様より、臨時災害放送局の開設及び運用について、技術的協力の申し出をいただきました。

協定のポイント

- ① 平時よりラジオ放送に携わっているマリンFM様が、有事の際に市庁舎に参集し、開設・運用の支援を行っていただくこと
- ② マリンFM様が、横浜市が作成した日本語原稿を多言語化し、放送を行っていただくこと

■ 株式会社横浜マリンエフエム 会社概要

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

会社名称	株式会社横浜マリンエフエム
ステーションコール	マリンFM (マリンエフエム)
代表取締役	笹原 延介
所在地	〒231-0806 横浜市中区本牧町1-9
周波数／出力	86.1MHz /20W
会社設立	平成30年9月3日
開局	令和元年8月26日
放送エリア	横浜市中区及び西区、南区、磯子区の一部
サテライトスタジオ	石川町スタジオ 令和元年9月オープン ハンマーヘッドスタジオ 令和元年10月オープン マリナードスタジオ 令和5年6月オープン

■ ゲストプロフィール



笹原延介（ささはら のぶゆき）
株式会社横浜マリンエフエム 代表取締役
1966年生まれ
横浜市中区出身

【履歴・職歴】	
1966年	横浜市中区本郷町生まれ
1990年	作曲家としてデビュー
2003年	有限会社バンブー設立（音楽制作会社）
2006～2015年	中区スポーツ推進委員（体育指導員）
2007～2014年	横浜市立大鳥小学校 PTA 会長
2008年	中区PTA連絡協議会 会長
2011年	震災後の福島を訪れ地域ラジオ局の必要性を感じる
2013年	横浜マリンFM 開局準備室を立ち上げ
2015～2017年	横浜市立本牧中学校 PTA 会長
2015年	横浜市中区本郷町二丁目町内会 副会長
2017年	中区PTA連絡協議会 会長
2018年	株式会社横浜マリンエフエム設立 代表取締役
2021年	本牧神社 総代
2022年	横浜市立本牧中学校 連絡協議会 会長

■ 今後について

- 臨時災害放送局（周波数77.1 MHz）の周知
- 発災時に迅速・確実に運用できるよう、
マリンFM様と連携して訓練を実施